

4月下旬としては暖かい札幌です。

そのせいででしょうか桜の開花が例年よりも4~5日早いようです。残念ながら北海道、特に札幌ではコロナ感染が蔓延していることで市内では外出自粛となり、桜の名所では宴会禁止や立ち入りさえも出来ず、通りから見るだけしか出来ない状況となっています。今回はそういった理由からそばで見るだけと言うことで3ヶ所程廻りましたのでせめてそれだけでも紹介致します。

丸山公園・中島公園・新川沿い通りとどの場所も桜の名所となり例年でしたら大勢の人達がジンギスカンを焼きながら宴会をしているのですが、今回は残念ながら禁止となっています。せめて気分だけでも歩きながらの花見となりました。

今はガマンしてStayHomeで耐えながら来年こそは花見ですね。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

このところ、自分で言うのもなんですが随分と料理の腕を上げ、レパートリーも増えてきたように思います。これはコロナの良いほうの影響です。ここ数ヶ月は外食することがなくなり、自宅でエプロン巻いてせっせと料理を作る今日この頃でも何となく自分自身疲れないよう、それなりに工夫を凝らしながら生活しています。

その中でマストな食材が、新たまねぎと泥ごぼうです。新たまねぎなんてのは、ほぼ毎日食べていまして、主には薄くスライスした新たまサラダやお味噌汁に炒め物と、とにかく飽きませんし万能です。その次がごぼうです。さきがけにして醤油、みりん、お砂糖などと唐辛子で炒めます。その次はホウレンソウ。きのこのバターソテーは最高です。最後にから揚げ。これは鉄板ですか。まあこんな普通よと仰られるとは思いますが、これが私の最近流行りの献立です。どこにも行ってないので、こんな報告となってしまいました。最後に最近買っておいしかったインスタントラーメンのご紹介をして締めにしたいと思います。

お店は『KALDI』そこで買った『柚子しおラーメン』。さっぱりとしてとてもおいしかったです。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



世界の拠点から

-From the base in the world-



新型コロナウイルスの影響により、世間では暗いニュースばかりとなかなか元気が出ない日々が続いています。外出もままならない状況なので、おうちで楽しめる何かを見つけたいですね。そこで、今回は応援プロジェクトの一つである私の地元の『エール飯』をご紹介します。

本当に私事ではありますが、地域の大型ごみの回収が無くなり、指定場所に持ち込みをしていたとある日のことです。ごみを持ち込んでいた時、指定場所の入り口のところで立て看板に『福津エール飯』と大きく宣伝していました。確かに、近隣の食堂などはほとんどが休業中、もしくはテイクアウトのみの営業をしていたため、ここまで大々的に宣伝をしていたことにびっくりしました。日ごろのニュースで飲食店の厳しい状況を見ていたため、「少しでも役に立てるのかな?」と思い、早速予約注文の電話を入れてみました。

名前は『ろくでなし』というお店で、普段は福津ラーメンとして頑張っているお店です。他、居酒屋メニューも豊富で、今回は焼き物、揚げ物中心にテイクアウトしてみました。お店の味が自宅でも味わえる上、使うものは電子レンジだけという手軽さで十二分に堪能できました。

色々な情報が飛び交い、いつ収束するか分からないこの状況ですが、まずはコロナウイルスに感染しないことを念頭に、自粛した生活を続けたいと思います。この世界の拠点からが発行される頃には何かの進展があること、収束していることを願うばかりです。皆様もくれぐれもお気をつけください。



福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は愛知県日間賀島のタコとフグについてご紹介します。日間賀島は師崎港から高速船で15分ほどで行ける島。私も以前に行ったことがあります。タコやフグをPRしていることで有名な島です。

1980年代から『タコの島』というアピールを始めて、島の東西にある港にはタコのオブジェがあったり、タコがデザインされたマンホールの蓋があったりと、島内の色々なところにタコをモチーフにした物があります。また以前タコ料理を現地で食べましたが、茹でタコやタコ飯などおいしく食べた記憶があります(タコのシーズンはこれから夏場です...)

1989年ごろに九州近海でフグが不漁になったのを機に『フグの島』としてもPRをはじめ、ツアーなどの効果もあり『フグの島』というイメージも定着しました。2006年には愛知県がトラフグ漁獲量が全国1位となり、特に12月までの漁獲量が多いそうです。(日間賀島でまだフグは食べたことがないのですが...)

今はコロナウイルスの影響でなかなか難しい状況ですが、次回はフグも食べてみたいと思います。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

この文章を書いている時は緊急事態宣言発令中。今月も会社と家の往復だけなので中々ネタがありません。そこで以前に紹介していないストックネタを紹介。

今回は地元尼崎のヒノデ水飴をご紹介します。ここは阪神尼崎駅から徒歩数分のところにあるのですが、幹線道路からは屋根の下の看板のみ見えるので知りませんでした。以前、尼崎城に行った際、パンフレットに載っていた創業百余年の由緒ある水飴屋さん。申し上げたとおり道路からは店自体が見えなかったのですが、地図を元に一段下道に行くと風情のある白漆喰のお店が出現。

店に入ると女将がお茶を出してくれ、商品の説明をして、試食もさせて頂きました。水飴はのどにも良いですが、煮魚と一緒に炊き込むと甘辛く出来ますよと教えて頂き、購入。割り箸やスプーンですくうと良く伸びます。原料は米のみですが、口に入れると柔らかくとてもお米だけとは思えません。のどを使う職業、歌手や落語家さんにも愛用されているそうです。また乾燥する季節が来たら購入したいですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

先日、1ヶ月間の断食を終えて、約10日間のレバラン連休がありました。レバラン連休中に両親、兄弟、親戚、近所の家を回り、挨拶することはここ数年の習慣でした。

しかし、今年は例外です。コロナの影響でかなり生活習慣が変わってしまい、コロナの感染を防ぐため人の移動制限で田舎・他の地域に行く車、バス、電車、飛行機などが禁止され両親、兄弟たちの家の訪問はできなくなりました。更に近所の家への訪問は政府から禁止されていませんが、意識的に感染の可能性を防ぐため近所訪問もしなくなりました。

レバラン連休中、買い物以外はずっと家で過ごしていました。国の公務員の場合は田舎に帰れないような目的かもしれませんが、政府の指令で断食後の連休は2日間だけでその後は通常通り働きます。もちろんコロナの状況が落ち着くまで(?)ほとんどは在宅勤務です。

ショッピングモールなどはお客さんが来ないので営業しておらず、飾られた服、カバン、財布などのサンプルにカビが生えた状況の写真がSNSで情報が出回っています。

経済的なダメージはかなり大きく、失業率が10%近く上昇したと言われています。政府は今の経済の下落を何が何でも止めたいのでNewNormalLifeStyle(マスク、石鹸・消毒剤での手洗い、ソーシャルディスタンスなど)という生活習慣を宣伝し6月あたりでショッピングモールの営業開始を考えています。NewNormalLifestyleがどこまでうまくいくのか本当に心配な気持ちがいっぱいです。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～マスクの下の素顔は～

中国伝統芸能の一つ、『変臉』を御存じですか?まばたきをした瞬間に赤いマスク(仮面)は緑色に変化。さらに黒や黄色など様々な表情に変わっていきます。

中国文化をフィーチャーしたイベントなどでご覧になった方もおられるかもしれません。変臉は四川省の『川劇』の一幕で披露される芸能で700年近い歴史を持ち、その技術は一子相伝ともいわれます。私もこれまで何度か見る機会がありました。レストランでプロモーションとして上演されることもあります。黒を基調にした神秘的な衣装をまとい、音楽に合わせて踊りながら10以上の様々なマスクがスピーディに変わっていく様子はとてもスリリングです。マスクの表情一つ一つに喜怒哀楽の意味があり、能や歌舞伎のように一つのストーリーが仕立てられています。昨今では、『スパイダーマン』や『ドラえもん』などコミカルなものも見られます。そして七変化の最後には演者の素顔が現れて大きな拍手。マスクの下はイケメンの演者、或いは意外にも美しい女性の演者ということもあります。

コロナウィルスの感染により世界経済へも大きなダメージが出ており、早期の収束を祈るばかりです。そして世界中の人々にとって『マスク』をはずし『素顔』で新鮮な空気をいっぱい吸い込める日が一日も早く来ることを願っております。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

新型コロナウイルスが全世界にて最悪のパンデミック状況になっております。日本でも外出自粛の勧告指示があるようですが、くれぐれもお気をつけください。

アメリカでは以前に比べ増加のペースが下がってきているようですが、それでも毎日2万から3万人の感染者が増え続けています。そして遂に先日100万人を超えてしまいました。正直外出していないので実感はあまりありませんが、この数字だけでも異常な状況です。ここカリフォルニアでは遂にStayHomeOrderが発令されて1カ月以上が経ちます。ジョージア州などアメリカの一部の地域では外出禁止令が少し緩和され、経済活動を再開しているところもありますが、まだ先が見えない状況は変わりません。さすがに心身ともに疲れてきています。

最近ではテレビ鑑賞が日課になっていますが、スポーツなどのライブ

中継が無い為、各テレビ局は過去のチャンピオンシップ(スーパーボウル、ワールドシリーズ、NBAチャンピオンシップ、テニスやゴルフの4大大会等々)の録画を放送しています。

相変わらずアメリカではほぼ全てのプロスポーツが再開の見通しが見えないままです。今年2月にスーパーボウルを終えシーズンを終了したNFLは他の北米4大スポーツの中では被害が最小ですが、新シーズンの開幕が9月より遅れるのはほぼ確実になっている様です。来年の国民的イベントのスーパーボウルはどうなるのでしょうか?東京オリンピックも延期にはなりましたがはたして開催できるのでしょうか?

誰のため、何のためのスポーツの祭典なのかを見つめ直す機会なのかもしれませんね。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

～利便性vs人道～

GPS、リモートカメラ、インターネットなどを利用することで、生活はとても便利になりました。人の手を煩わせることなく出来ることや、仕事が増えました。

私はチャンギ国際空港の降車ゾーンでロボットを見つけました。平面を自由に移動し、停車時間が長すぎると大きな音が出ます。

ソーシャルディスタンスが保たれているかどうかを監視するためにいくつかの公園でロボット犬を放されたりしています。このロボットは、人々に間隔を思い出させるために録音された音を発します。人ではなくロボットに監視・警告されるのは奇妙な感じがします。ロボットは対話ができないため、コミュニケーションは一方のみです。それでも、マシンと話すのは面倒です。監視にロボットを使用することはコスト効率が良いのですが、シビアで、規則通りです。対処するときに効果的な場合もありますが、それでも人のタッチが必要です。

個人的にはルールを守っていますので、そのようなロボットの使い方は大歓迎です。あなたはどうか?

KIO(シンガポール)(E.Wong)

～ストリートアート～

私たちは距離をとらなければならず、どこかへ出かけるのも困難です。ですので、ほとんどの人が自宅から自粛しています。しかし、現在の状況は長期化し全世界に影響を及ぼしています。この状況に人々は不快・退屈になり、安全にすべての対策を保つためにチェックします。そのため、代替案を探したり、気を配ったりすることで維持することができました。

私たちは北ブラバント州のストリートアートを巡ることにしました。運転し、車の中からアートを見ることができると安全です。

ブラバント州の中で最もクールなストリートアートがある35km離れたブレダに行きました。ブラインドウォールギャラリーと呼ばれるとてもクールなプロジェクトが年中絶賛されています。見ることができる壁画は儂く不変で、ブレダの過去・現在・未来にインスピレーションを得ています。60以上ある壁画でこの街の物語をみることができます。そのため、灰色の壁が退屈になり、国際的なアーティストと共にブラインドウォールギャラリーが制作されました。過去のイベントとリンクし、特別なメッセージを描いたものがあります。安全に楽しむことができ、とても印象的でした。これは自粛で困難な時期に自由な時間を乗り切るものです。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)